

# Dulight<sup>デュライト</sup> 150<sup>®</sup>

---

## Dulight150 取扱説明書

---

文書番号：MDPD202312007 Ver1.0

施主様用

施工業者の皆様へ  
この取扱説明書は施工後、お施主様へ必ずお渡してください。

ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよくご理解いただいたうえで、本書の内容（指示）をお守り頂きますようお願いいたします。

※太陽電池モジュール及び、周辺機器の取り扱いについては該当製品の取扱説明書をご確認ください。

| 安全に関する記号     | 記号の意味                                                  |
|--------------|--------------------------------------------------------|
| <b>警告</b>    | 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。              |
| <b>ご 注 意</b> | 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、又は物的損害のおそれのある内容を示しています。 |
| <b>お 願 い</b> | 取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。                 |

※製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになったあとは、大切に保存してください。

## 警告

# 1 / 安全のために必ず守ってください

- 積雪時・降雪時の落雪にご注意ください。  
太陽電池モジュールの下は勢いよく雪が落ちるおそれがあり危険です。
- 製品に直接電線を巻き付けしないでください。漏電により感電するおそれがあります。
- 太陽電池モジュール・架台の上に乗らないでください。  
また、制限をこえる重量物を載せたり商品に無理な力をかけないでください。転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 太陽電池モジュール・架台に頭などをぶつけないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- 雪庇や巻き垂れができた場合は、早めに取り除いてください。商品の破損や雪の落下により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 地震発生時の避難や待機場所として使用しないでください。商品の破損により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 高所での作業を行う場合は、十分に安全を確保してください。安全の確保が難しい場合は無理をせず、専門の業者にご依頼ください。転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 製品仕様を超える積雪時には、商品の下には入らないでください。雪の重みで商品が破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 製品仕様を超える降雪時には雪下ろしが必要です。  
太陽電池モジュール（屋根）が雪の重さでつぶれ落ちてけがをするおそれがあります。  
積雪量は、積雪1cmあたり3.0kgf/m<sup>2</sup>として設計しています。  
雨やみぞれにより、雪の比重が大きくなりますので、下表の「雪下ろしの目安」よりも早く雪下ろしを行ってください。

### 【雪下ろしの目安】

| 製品仕様      | 新雪                                       | しまり雪<br>(雪の重みで硬くしまった雪)                   | ざらめ雪<br>(氷つぶのようにざらざらした雪)                 |
|-----------|------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
|           | 雪比重：0.3<br>1cm当たり 約3.0kgf/m <sup>2</sup> | 雪比重：0.5<br>1cm当たり 約5.0kgf/m <sup>2</sup> | 雪比重：0.7<br>1cm当たり 約7.0kgf/m <sup>2</sup> |
| 積雪150cm以下 | 150cm                                    | 90cm                                     | 64cm                                     |

### 【雪下ろしの方法】

- 脚立や踏み台などを安定した場所に設置し、プラスチック製スコップやゴム製ベラ等を使用して雪下ろしを行ってください。
- 安定した足場が確保できない場合や、屋根に届かない場合は長い柄のついたタイプの雪下ろし棒等を使用してください。

### 【雪下ろしの注意点】

雪下ろしを行う際は、以下の点に十分に注意してください。

- 雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると太陽電池モジュール（屋根）が破損する原因となりますのでプラスチック製スコップやゴム製ベラ、先がゴムタイプの雪下ろし棒等で、太陽電池モジュールに傷がつかないように行ってください。
- 雪下ろしの際は転落の恐れがございますので屋根面には乗らず、側面から太陽電池モジュールのアルミフレームに体重をかけてください。その際、太陽電池モジュールのガラス面には直接体重をかけないでください。
- 屋根に積もった雪に水をかけないでください。雪の比重が重くなり、製品の倒壊など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 雪下ろしの際には、はしごを使用しないでください。落下事故につながる恐れがあります。
- 雪下ろしの作業を行う前に、周囲の安全を確認し、通行人や隣近所に注意を払ってください。
- 雪下ろしの際、屋根の下に入らないでください。製品の倒壊などで思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 雪下ろしや清掃作業による太陽電池モジュールの傷、破損は保証対象外となります。
- 雪下ろしに関する事故、損害に関しては、当社は責任を負いかねます。

## ご 注 意

## 2 / ご使用にあたって

- 製品に火を近づけないでください。
- 当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。
- ネジ・ボルト・ナット等は絶対にゆるめないでください。
- 年1回程度の定期点検を行ない、ネジ・ボルト類のゆるみを締め直してください。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- カーポートは簡易型車庫です。物置、遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的としてみだりに改造、変更はしないでください。
- 車両の入出庫の際に、支柱にぶつけない様にご注意ください。
- 商品をご使用中にガタつきなど異常を感じた場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めの工務店、販売店にお問い合わせください。ご使用を続けた場合、商品が破損するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

## お 願 い

- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- 太陽電池モジュールの上に落ち葉などが付着した場合、発電量全体の低下につながる可能性がありますので、長期的に付着しているものは、定期的にゴムベラ等で静かに取り除いてください。
- 不安定な台の上などで作業を行わないでください。

---

## 3 / お手入れについて

---

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

### (1) 本体の清掃

#### a.表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

#### b.水ぶきをする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきでおちない場合は、中性洗剤（1～2％の水溶液）で軽く洗い流します。

#### c.水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

#### お願い

- 表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。  
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。
- 有機溶剤(シンナー、ベンジン、アセトンなど)を使用しないでください。  
有機溶剤が付着するとひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤、カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。  
表面に付着すると変色するおそれがあります。  
付着した場合は速やかに洗い落としてください。
- たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。商品がキズつくおそれがあります。
- 布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。商品にキズがつくおそれがあります。

### (2) 点検

#### お願い

- 定期的（年一回程度）にボルトのゆるみを点検し、締め直してください。

### (3) 雨樋部のお手入れ

#### お願い

- 雨樋にたまった落ち葉やほこりは定期的に取り除いてください。雨水がつまって雨樋や溝レールからあふれるおそれがあります。
- ゴム出しエルボのキャップを半時計回りにまわしてはずし、ゴミ出しエルボ内のゴミを取り除き、キャップやパッキンの汚れを落としてください。  
※ゴミ出しエルボにパッキンが貼り付いている場合は清掃時にはがしてください。取り付けの際、キャップの内側にパッキンがついていることを確認してください。  
※キャップや貼り付いたパッキンを外す際、水やごみが落ちる可能性がありますので、ご注意ください。
- 冬季、気温が低い時は、ゴミ出しエルボキャップを取りはずしてください。水が凍結して膨張し、樋部が破損するおそれがあります。キャップは保管し凍結のおそれがなくなってから、再度取り付けてください。
- たて樋の排水口は雪でふさがないようにしてください。樋部にたまった水が凍結して膨張し、たて樋が破損する恐れがあります。

